

交野ラグビースクール保護者各位

交野ラグビースクール活動再開について

交野ラグビースクール

木場 康文

1 はじめに

スクール活動の安全な再開を目指して、日本スポーツ協会「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、World Rugby「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴うラグビー活動の安全な再開について」を踏まえ、慎重に再開方法、再開時期を検討し、以下の点を重要視しました。

- ・スクール活動再開がスクール生、スクール生の家族、関係者、地域社会における感染拡大につながらないこと
- ・スクール活動再開が地域社会の COVID-19 対応資源に負担をかけるものではないこと
- ・ラグビーの価値を大切に活動を実施していくこと
十分な活動再開が可能となるまでの期間は、激しい身体接触が発生する試合の実施については難しいことが想定されます。
それまでの間は、チームで体を動かすこと、コミュニケーションをすることなど、活動を工夫し、ラグビーを仲間と楽しむこと、ラグビーを通して心身を鍛えることなどの面でのラグビーの価値を大切に活動を行いたいと考えます。
- ・COVID-19 対応を含め、「安全」が最重要事項であることを関係者全員が認識して、ラグビーに取り組むこと

今後の関係省庁のガイドラインや各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあることご了承下さい。

2 スクール活動の再開

活動再開にあたっては、大阪府、交野市の方針に従うことが大前提であり、また学校の方針に従います。

（グラウンド確保ができない可能性があります。）なお、コンタクトプレーを伴う活動は、当面の間禁止とします。
6/28（日）活動再開を予定しております。

【日常生活での注意点】

新型コロナウイルスは発症する2日前の方や症状のない方からも感染する可能性があります。

スクール活動以外の生活の中で感染しないために、換気の悪い密閉空間、
多くの人が密集している密集場所、近い距離での会話や発声が行われる密接場面、
これらのいわゆる三つの密を回避するとともに、身体的距離の確保やマスクの着用、
手指衛生などの基本的な感染対策を継続し、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を積極的に取り入れてください。

【スクール参加前】

- ・以下の事項に該当する場合は、スクールへの参加の見合わせ、参加しないこと。
 - >体調が良くない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - >同居家族や身近な知人に感染症が疑われている方がいる場合
 - >過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ・体温測定、健康チェックを行ってください。
- ・新型コロナウイルス感染症が発生した場合は、必ず学年主任コーチへ速やかに報告してください。
- ・スクール参加当日には、検温を行ってください。
- ・感染経路の追跡を行うため、スクール名簿を作成し、個人情報の扱いに十分注意しながら、スクール生の参加状況・健康状況（保護者の方の参加状況・コーチ参加状況も）を記録します。ご協力をお願いします。
- ・目、鼻、口を触らないように心掛け、どうしても触るときには手洗いや手指消毒をした後に触るようにしてください。

【スクール参加時】

- ・スクール参加時の往復は状況に応じてマスク着用をお願いします。
- ・スクール活動中、休憩中も含め、極力最低でも2メートルの距離を人と人との間で保つこと。
1名当たり4㎡のスペースを確保してください。（手をひろげて隣の人に当たらない）
- ・人と人との挨拶や体に触れること（握手や抱擁）は積極的に回避すること。
- ・トレーニング中のスクール生のマスクの着用は、義務付けない。（コーチは極力マスク着用）
- * マスク着用により十分な呼吸ができないことによる身体への影響の可能性のあることや熱中症などには留意すること。
- ・こまめな手洗い、アルコール手指消毒薬等による手指消毒を実施すること。
また、スクールで手指消毒剤を準備します。
- ・プレーの説明、消毒、手洗いの際、密集・密接を作らないようすること。
- ・学年別に時間をずらして活動を計画しております。
- ・可能な限り、各学年にコーチを割り当て、そのコーチはその学年だけを監督し、他学年のスクール生とは距離を保つこと。
- ・スクール活動中に唾や痰をはくことは極力避けること。
- ・発熱などの症状が確認されたスクール生・関係者は直ちに活動を中断し、隔離等の適切な対応を行うとともに、必要に応じて保健所や医療機関への相談あるいは受診を促すこと。
- ・目、鼻、口を触らないように心掛け、どうしても触るときには手洗いや手指消毒をした後に触るようにすること。

【周辺環境】

- ・スクール生及び関係者が、学校で食事をしたりすることは避けてください。
- ・ボール、タグ、コーン、ラダーは共用道具を利用します。活動後、手洗いをお願いします。
- ・ビブスの利用を中止します。
- ・水筒、タオル、帽子などの個人の備品は、分かりやすく区別できるようにして、共用・使いまわしをしないでください。また保冷剤等、冷却するものも各家庭でご準備をお願いします。
- ・手洗い場、保護者見学スペース、トイレについて、以下の点に注意してください。

手洗い場

- ・各ご家庭にて石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意してください。
- ・手洗いを30秒以上行うようお願いいたします。
- ・手洗い後に手を拭くための、ペーパータオルを用意するか、もしくは個人のタオルを持参させ、共用タオルを使用しないようにする。

保護者見学スペース

- ・「三つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- ・身体的距離の確保やマスクの着用をお願いします。
- ・スクール生休憩時、他のスクール生と密を避ける。

トイレ

- ・トイレ内の複数の関係者が触れると考えられる場所についてこまめに消毒をする。
- ・各ご家庭にて石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意してください。
- ・手洗いを 30 秒以上行うようお願いいたします。
- ・手洗い後に手を拭くための、ペーパータオルを用意するか、もしくは個人のタオルを持参させ、共用タオルを使用しないようにする。
- ・ゴミの廃棄について、活動時にでた鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼を用いた 30 秒以上の手洗い、あるいはアルコール手指消毒薬による手指消毒をしてください。ゴミは各自持ち帰りをお願いします。

3 活動の再開時における段階的プレー復帰

新型コロナウイルス感染症に伴うラグビー活動の安全な再開を行うには、これまで述べた感染防止策を講じ、大阪府、交野市や教育委員会、学校の方針を理解して、適切な感染予防処置の下で計画してまいります。

3.1 STEP1

想定：6～7月（6/28,7/5,7/12,7/26（予備） 3～4回）

- ・活動時間を縮小します。
 - 9:00-10:00：幼児～3年生（9時集合、集合時間前に来ないこと）
 - 10:30-11:30：4～6年生（10時半集合、集合時間前に来ないこと）※コーチ、保護者も入れ替わります。（兄弟がいるところは例外です。）
※OBの方もサポートする学年を限定ください。
- ・活動スケール・内容を縮小します。
 - 全体練習なしとし、学年別練習のみとします。
 - 体力面を考慮し、負荷を軽減し、こまめな休憩を入れます。
 - 個人メニューおよび小さなユニット練習を中心とします。
 - コンタクトプレーはなしとします。（タグラグビー、タッチラグビーも基本 STEP1 見合わせ）
- ・北河内大会（6月）、常翔啓光カーニバル(7月) 中止となりました。
- ・7/27-8/29 まで岩船小学校での練習は、休みとします。（熱中症リスクが高いため）
- ・合宿について
 - ・安全対策の確保が難しいため、今年度中止とします。

3.2 STEP2

想定：8月30日以降～

- ・活動時間をSTEP1より拡張していきます。
 - 9:00-10:20：幼児～3年生
 - 10:30-12:00：4～6年生
- ※コーチ、保護者も入れ替わります。（兄弟がいるところは例外です。）
- ※OBの方もサポートする学年を限定ください。

- ・活動スケール・内容を拡張していきます。
 - 全体練習なしとし、学年別練習のみとします。
 - コンタクトプレーは徐々にOKとします。（10月以降スクール大会開催予定です。）
 - タグラグビー、タッチラグビーOKとします。（10月以降スクール大会開催予定です。）

- ・9月以降のスクール大会のスケジュールは、ホームページ参照してください。

4 報告

スクール感染者がでた場合、感染経路の追跡等の感染拡大防止の観点から、都道府県協会の安全対策委員会へ報告します。

2020/08/14

チームに感染者がでた場合、感染経路の追跡等の感染拡大防止の観点から、チーム代表者の方は都道府県協会の安全対策委員会へご報告します。（様式はフリーです。）

報告事項

- ・発症年月日
- ・性別、年齢
- ・カテゴリー（例：スクール、高校、クラブ、社会人等）
- ・転帰（感染した結果どのようなになったか）

報告に関する補足

- ・都道府県協会の安全対策委員会にて受け付けた感染報告は日本協会の安全対策委員会に送付。

送付先：日本協会 安全対策委員長 m.saito@rugby-japan.or.jp

（同時に支部協会の安全対策委員長にも通知。）

- ・チームが活動自粛中の場合は報告対象外とします。
- ・報告の対象は、日本協会に登録されている選手、スタッフとします。
- ・大会開催時の報告については、大会運営本部等からのガイドに対応します。
- ・報告期間については、今年度内。2021年4月以降については改めて案内。

5 参考

- ・ COVID-19 に伴うラグビー活動の安全な再開について
<https://playerwelfare.worldrugby.org/?documentid=219>
- ・ ワールドラグビーの新型コロナウイルス（COVID 19）理解度テスト
<https://playerwelfare.worldrugby.org/covid-19-courses>
- ・ JSPO(日本スポーツ協会)「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
<https://www.rugby-japan.jp/news/2020/05/20/50481>
- ・ 通達) ラグビー競技の再開にむけて
<https://www.rugby-japan.jp/news/2020/05/31/50483>